

## 令和元年度事業報告

### 1. 事業の概要

シルバー人材センター事業の背景となる国内の社会経済状況は、国内の生産年齢人口の減少、少子・高齢化などにより、長期的要因に起因する労働力不足が今後も見込まれます。また、定年の延長や年金受給開始年齢の引上げなどにより、高齢者を取り巻く社会経済状況は大きく変化しており、会員増強に係る環境が厳しくなり、会員減少の解消が増々困難になる可能性が出てきていますが、シルバー人材センターの地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を行うためには会員の拡大が重要です。

また、シルバー人材センター会員の生活圏内での就業機会の確保を図り、高齢者のニーズに対応した就業機会を安定的に提供する体制を構築する取組みが求められています。

こうした中、当センターの運営は、請負・派遣事業の収益、市からの補助金、国からの交付金により実施しており、補助金、交付金については、国や地方の厳しい財政状況の中でご理解・ご支援をいただきました。

当センターの受託事業収入は **36,267,367** 円であり、前年度比較で **792,075** 円、**2.2%**の増となりました。

市・県等の公共事業と民間事業が共に増加し、また、受託件数も増加していることは、当センターの事業が地域社会の中に浸透していることや会員が高い参加意識を持っているものと考えます。

今後においても、会員の確保に努め、センターの基本理念に基づき、安全就業を徹底し、会員の生きがい・社会参加の場として、会員相互の連携やお客様の信頼性の向上を図りながら、地域の日常生活に密着した仕事を提供する事業を推進してまいります。

令和元年度事業実績（前年度比較）

項目／年度	令和元年度	平成30年度	増 減	
			(件数・金額・人)	(%)
会 員 数 (人)	145	156	▲11	▲7.1
受 託 件 数 (件)	1,352	1,309	43	3.3
受託事業収入 (円)	36,267,367	35,475,292	792,075	2.2
内訳：公共 (円)	12,424,802	12,332,848	91,954	0.7
民間 (円)	23,842,565	23,142,444	700,121	3.0
就業延日人員 (人)	13,048	12,684	364	2.9
就業実人員 (人)	110	114	▲4	▲3.5
就 業 率 (%)	75.9	73.1	2.8 ポイント	
派遣事業				
受 注 件 数 (件)	4	2	2	100
契 約 高 (円)	1,974,120	1,202,940	771,180	64.1
就業延日人員 (人)	245	166	79	47.6

※派遣事業については、県連合会との契約のため、参考数値として表記した。

(1) 会員の確保と就業機会の拡大

令和元年度における新規加入会員は12人、退会者23人で令和2年3月31日現在の会員数は145人となり、前年と比較し11人減の会員数となりました。

退会の主な理由は、疾病・加齢によるものが主な要因となっています。

また、会員の増加を図るため、役職員、会員による紹介、会報・市広報誌・市役所掲示板にチラシの掲示及びホームページの活用を図るとともに、イベント(かつうら魅力市)で会員募集のロコミ及びチラシとチラシ入りポケットティッシュを配付してセンターのPRに努めました。

(2) 安全就業対策

会員の安全就業と健康管理のために、年2回発行の会報と安全就業だよりを配付して事故を未然に防止するための啓発、就業現場の安全パトロール実施など安全就業意識の高揚を図り事故防止に努めましたが、年度中に傷害事故2件、賠償事故2件が発生し、前年度と比較して1件減少という状況になりました。

発生した事故はちょっとした心がけで未然に防止できたケースがほとんどでしたので、今一度、初心に立ち返り、「就業の安全確保」が最優先の課題で

あることを心に刻み、安全就業に心掛けていただく必要があります。

(3) 会員就業意欲と技術の向上

会員の就業機会の拡大及び未就業会員の解消に向けて、新規加入会員の承認手続きを理事会承認から会長承認に迅速化し、早期の就業機会の提供に努めました。

(4) 会員の資質の向上・福利厚生事業の推進

市が主催するゴミゼロ運動やイベント(かつうら魅力市)へ参加し、会員同士や地域とのつながりを深め、また、親睦旅行を実施して会員相互の交流を図りました。

(5) 組織運営の充実

総務・企画部会、地域班長会議、安全・適正就業部会と安全委員会の合同会議及び会報編集委員会を開催し、より良い事業の推進を図るため積極的な意見交換に努めました。